

# マンション購入半数が40歳前に

女性のための快適住まいづくり研究会（小島ひろ美会長）は、マンションを購入した女性へのアンケート調査の結果を公表した。購入者の約半数が39歳までにマンションを購入していることなどが分かった。

初めてマンションを購入した年齢で最も多かったのは、「40～44歳」で28・2%、次いで「35～39歳」が26・1%、「30～34歳」が16・8%、「45～49歳」が15・8%だった。20代での購入は5・3%で、「50～54歳」と同程度で、40歳未満での購入は全体の48・2%を占めた。

その際、正社員は86・8%、派遣・契約社員は8・9%、フリーランスが1・3%、専業主婦が1・1%など、約1割が非正規雇用だった。購入時の年収最多層は「500万円台」で22・9%、次いで「600万円台」が16・6%、「4

00万円台」が16・1%、「300万円台」が12・4%、700万円台が10・5%と、年収500万円未満の層が3分の1を超えた。

購入動機で最も多かったのは「家賃や更新料がもったいないと思った」で57・6%、次いで「快適で安全に暮らせる家がほしかった」が44・2%だった。

マンションの頭金で最も多かった金額は「100万円未満」で全体の16・6%、次いで「1000万～1500万円」が16・1%を占めるなど、結果が一極化した。近年急増しているのは100万円未満での購入で、金融緩和の影響で頭金なしでもローンが組めるようになった点などが後押ししたと見られる。

購入したマンションの最多価格帯は「300万～3499万円」で26・1%、次いで「2500万～3999万円」が18・7%で、2500万円以上4000万円未満の物件が約7割を占めた。初めて購入した間取りで最も多かったのは1LDK（1DK）で53・9%、次いで2LDK（2DK）で30・8%だった。専有面積で最も多かったのは「40～49平方㍍」で29・5%、次いで「30～39平方㍍」で27・9%と、30～50平方㍍未満を約6割が占めた。

物件を選んだ理由で最も多かったのは「交通アクセス・駅からの距離」で90・5%に上り、次いで「間取り・収納・内装」が66・1%など、利便性が高く、将来的に貸しやすい・売りやすい物件を求める傾向が明らかになった。

5年以内にマンションを購入した女性会員を対象に17年12月24日から1月8日にインターネット上で実施し、380人が回答した。